

事業計画書

事業名	伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会・ワークショップ事業 Part 2
団体名	東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難者から学ぶ大震災の事業を実施した。その際イベント実施の一環として3.11時のアンケート調査・事業実施後のアンケート調査の2調査を集計した。そのまとめた集計結果から見えたものが、今回の応募する原点となった。 2. 阪神・淡路大震災時の神戸市でも、35000人の被災者がいたが、救出に行政のみでは間に合わず、被災者の内27000人は市民の手で救助された。 3. 上記2つの事から以下の課題が見えてきた。 <ol style="list-style-type: none"> ①地域の連携の大切さ。自助・共助・公助の中で共助がそれに当たる。 ②震災に必ずしも自宅で遭うとは限らない。 ③情報を共有することの大切さを痛感した。 ④減災とはどんなことか市民が理解しあえるようにしたい。
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害リスクを軽減したい 地域や身近にいる人が助け合う『共助』を学ぶ 災害弱者の力になる 2. 避難者の力を借りることで、避難者と一緒に事業を成功させたい 3. サロンに来訪の市民の力を結集する 4. 震災を忘れてはならない
事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 講演会とパネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 今回は、都市型震災を視野に入れ阪神・淡路大震災の震災体験者を招きたい。 建物倒壊、火災、避難所への経路、震災弱者の講演内容とする。 ・パネルディスカッション 講師・避難者・市民などに参加を依頼し、減災を実現させるための方策を見つける。 (2) ワークショップ 「減災マップづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・『減災街歩き』を実施。サロン設置地区を選ぶ。サロン来訪者から参加希望を募る。 ・事業当日、班ごとに分かれ地図に落とし込んでいく。 地域への関心を高める効果。危険な建物・塀を見つける。高齢者の居

	<p>所、避難所迄の道筋(通常親しんでいる道路がベター)、土地の高低差を確認する。店舗、公衆電話設置場所などを見つける。</p> <p>・松戸市内で防災活動を実施している団体に、ワークショップ「減災マップづくり」にアドバイザーとして参加をお願いする。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="480 427 1386 1131"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>講師選定 計画書に沿った内容検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>計画書に沿った内容検討 『街歩き』参加者募集</td> <td>街歩きの範囲を確定する</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>広報活動 チラシ原稿作成</td> <td>松戸市・日刊紙・情報誌 開催場所の交渉</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>実施場所の確保 チラシの印刷・配布</td> <td>調整が必要</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>前月準備 講師と詳細打ち合わせ</td> <td>当日配布資料の準備 パネル等の準備</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>講演会 ワークショップ</td> <td>当日</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>報告書の作成 振り返り</td> <td>アンケート集計</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	講師選定 計画書に沿った内容検討		5月	計画書に沿った内容検討 『街歩き』参加者募集	街歩きの範囲を確定する	6月	広報活動 チラシ原稿作成	松戸市・日刊紙・情報誌 開催場所の交渉	7月	実施場所の確保 チラシの印刷・配布	調整が必要	8月	前月準備 講師と詳細打ち合わせ	当日配布資料の準備 パネル等の準備	9月	講演会 ワークショップ	当日	10月	報告書の作成 振り返り	アンケート集計	11月		
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																										
4月	講師選定 計画書に沿った内容検討																											
5月	計画書に沿った内容検討 『街歩き』参加者募集	街歩きの範囲を確定する																										
6月	広報活動 チラシ原稿作成	松戸市・日刊紙・情報誌 開催場所の交渉																										
7月	実施場所の確保 チラシの印刷・配布	調整が必要																										
8月	前月準備 講師と詳細打ち合わせ	当日配布資料の準備 パネル等の準備																										
9月	講演会 ワークショップ	当日																										
10月	報告書の作成 振り返り	アンケート集計																										
11月																												
<p>既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)</p>																											
<p>事業の目標</p>	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チラシ 1000 枚印刷・配布。 2. 講演会参加予定者 70名(次世代を担う若い人の参加10名は確保したい) 3. 避難者を講師に招くことで、避難者の置かれた現状を市民に知ってもらう。 4. この事業をサロンニュース(750部発行)に掲載し減災を市民に知らせる。 5. 当日作成した1地区の減災マップを利用できる域まで完成させたい。 																											
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サロン活動を通じて減災の手法を市民に広げていく。 2. 今回は、減災マップを1地区で作成するが、松戸市内に広まっていくようサロン活動でも減災マップ作りを講座に組み入れてみたい。 3. お付き合いの始まった栗ヶ沢防災委員会の皆さんに、アドバイス頂きながら引き続き交流を深めていきたい。 4. 避難者同士・避難者と松戸市民の交流の場を、『共助』の場にしていく。 																											

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	松戸・東北交流プロジェクト拠出金	¥ 53,700	対象事業費の一部を団体からの会計から拠出
	自己資金合計額 (a①)	¥ 53,700	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)	¥ 12,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 65,700	
	市 市民活動助成金 (B)	100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 165,700	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	講師謝礼50000円、栗防10000円
	印刷製本費	¥ 35,000	広報チラシ印刷代、当日資料印刷代 30円×1000枚、10円×500枚
	消耗品費	¥ 13,000	模造紙、チラシ・資料用紙、展示用パネル 40円×20枚、2円×1000枚、1円×500枚、500円×5枚 他
	食糧費	¥ 2,000	パネルディスカッション 茶菓子代・水
	使用料・賃借料	¥ 10,000	プロジェクター、スクリーン 1式
	通信運搬費	¥ 28,700	切手代 82円×350通
	保険料	¥ 5,000	行事保険
	対象経費の合計 (D)	¥ 153,700	
その他経費	食糧費	¥ 10,000	会員の食事代 500円×20名
	サロン開設茶代	¥ 2,000	お茶
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 12,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 165,700	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。